



# 前立腺検査

## 何をする検査？

腕から、通常の採血検査を行います。

## 何を見ているの？

採血をした血液中に、前立腺特異抗原（PSA）といわれるタンパク質がどれくらい含まれているかを見ています。

## 何がわかるの？

前立腺特異抗原（PSA）の値によって前立腺肥大症、前立腺炎、前立腺癌などの病気の可能性がわかります。

## どんな人におすすめ？

前立腺の疾患は、50歳代から急増します。50歳以上の男性や、排尿に違和感のある方、尿の勢いが弱くなったと感じる方、残尿感がある方は検査を受ける事をおすすめします。



# ● PSA (ng/ml)

## 65歳未満

【～3.0】  
正常

【3.1～4.0】  
正常(高値)

【4.1～10.0】  
境界域

【10.0～】  
疾患疑い

## 70歳未満

【～3.5】  
正常

【3.6～4.0】  
正常(高値)

【4.1～10.0】  
境界域

【10.0～】  
疾患疑い

## 70歳以上

【～4.0】  
正常

【4.1～10.0】  
境界域

【10.0～】  
疾患疑い

PSAは加齢とともに高くなり、前立腺肥大、前立腺炎、前立腺癌などで高くなります。また、値が高いからといって必ず病気が隠れているとも限らないため、併せてエコー検査や生検といわれる組織採取を行い、それらの検査結果から病気を特定します。

検査の結果は、医学的な診断を示すわけではありません。  
検査結果が気になる方は、検査結果をお持ちの上、受診  
をしてください。